

Tachikoku Times

No.0033 3月号

東京都立立川国際中等教育学校
<https://www.metro.ed.jp/tachikawa-s/>

Saturday March 20, 2021

自分の翼で 大きく羽ばたいて 第8回 卒業式

3月13日(土)に、立川国際の「第8回卒業証書授与式」が行われました。コロナ禍での卒業式となりましたが、卒業生保護者の方々に卒業式に参列して頂き、第8期生149名の旅立ちを祝福して頂きました。卒業生一人一人が壇上に上がり、第6学年の担任から名前を呼ばれ、「はいっ!」という元気な返事をしました。校長から卒業生全員に卒業証書が手渡されました。在校生の代表として参列した5年生の送辞の後、卒業生代表の答辞では、すべての人たちへの感謝の思いがあふれていました。6年間一緒に生活をしてきた仲間とお別れとなりました。6年間生活をしてきた立川国際を卒業し、4月からは自分で決めた新しい生活の中に飛び込んでいくことになります。その生活には、期待と不安がいっぱいあることでしょう。立川国際で蓄えた力をエネルギーにして、自分の翼で力強く、そして大きく羽ばたいていくことでしょ



勝負!

学年末考査 スタディサポート

2月下旬に立川国際全体が「テストモード」に切り替わりました。翌週3月2日(火)から後期課程(高校)4日間の学年末考査が始まりました。前期課程(中学校)は3日(水)から3日間の考査でした。令和2年度の学習のまとめとなる学年末考査。考査当日まで、平日の放課後の時間、そして帰宅後の家庭学習の時間、祝日や土日は、その日の多くの時間を学習時間にして、机に向か

仕事、昔

12月からグループごとに調べ学習を進めてきた第2学年。技術の進歩、AIの導入、そしてコロナ禍…、今

現存している仕事は昔、どんな風に進められていたのだろう、将来、どのように変わっていくのだろう、「仕事の昔・今・未来」というテーマで調べ学習を進めてきた第2学年。学級内発表に続き、学年の発表会が行われました。学年発表会の舞台上に上がったグループの発表は、どれも素晴らしい内容でした。立川国際を卒業して、2年生の皆さんが社会人になる時に今回の調べ学習で取り組んだこと、発表によって得た情報が、役に立つといいですね。

今 未来



ていた生徒たち。少し寝不足状態になっている生徒もいたようです。文字通り「真剣勝負」だった学年末考査でした。考査終了の翌週に、第3・4学年では模擬試験「スタディサポート」がありました。次の学年に進級する前に学力を確認する模試です。学年末考査が終わっても気を抜くことができない第3・4学年の生徒です。

令和3年度へ 生徒会役員会動く

コロナ禍で生徒会の活動の多くが制限されています。「何か自分たちでできることを…」という思いで生徒会役員会では、新年度を見つめ動き出しています。4月に行われる「対面式」「部活動紹介」など、4月に立川国際の仲間入りする新入生のために…とその準備を始めています。生徒全員で素敵な会にしたいですね。